

令和8年（2026）6月12日～6月17日

令和8年度（2026）

第2回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表

令和8年度（2026）第2回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

6月12日（金） 10:00開会			6月15日（月） 10:00開会			6月16日（火） 10:00開会			6月17日（水） 10:00開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	大場利信	3	1	川上雅文	10	1	湯浅啓史	17	1	糸賀太郎	24
2	大村朋寛	4	2	樋野千晴	11	2	鐘推義憲	18	2	後藤由美	25
3	成相寛之	5	3	今岡久人	12	3	錦織稔	19	3	三島好弘	26
4	今岡真治	6	4	保科孝充	13	4	板倉一郎	20	4	吉岡拓也	27
5	福田実	7	5	児玉俊雄	14	5	吉井安見	21			
6	大谷良治	8	6	石橋広信	15	6	長廻利行	22			
7	三加茂圭祐	9	7	坂本祐麻	16	7	長島和孝	23			

質問者	23 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市教職員の多忙化の解消について伺う	
<p>① 出雲市教職員多忙化解消プランでは、新たな取り組みとして、具体的な4つの時間外在校等時間に関する数値目標と2つのワーク・ライフ・バランスに関する数値目標を、これまでの3本の柱すなわち「業務改善の取組」、「意識改革の取組」、「部活動での取組」に盛り込むとされています。新たに設けられた数値目標が達成される前提として、3本の柱の取組が実現されていることが不可欠と考えます。主だったものについて、以下伺います。</p> <p>ア 教員以外の支援スタッフ（スクール・サポート・スタッフを含め、）の適正配置の取組</p> <p>イ 学校2学期制の導入について、現状と今後の計画</p> <p>② 教員の「児童・生徒と向き合える時間の確保」について、以下伺います。</p> <p>ア 本市における学級編成基準について</p> <p>イ いじめ、不登校、生徒指導や学校外でのトラブル対応</p> <p>ウ 授業につまずいたあるいはつまずきつつある児童・生徒への支援</p> <p>③ 最後に、給与特別措置法の改正により教職調整額も順次引き上げられ教育職員の給与改善もなされようとしています。教育現場の多忙化が解消され、教育職員と児童・生徒との人間的結びつきを強くし、学校教育が取り込まれることを要望しています。教育長の見解を伺います。</p>	
(2) 市の指定管理者制度の運用について伺う	
<p>① 出雲市における指定管理施設の数と近年の指定管理事業者への応募状況を伺います。</p> <p>② 令和7年度と令和8年度の指定管理料の総額を伺います。</p> <p>③ 指定管理で利用料金や自主事業の収入について、事業者のインセンティブを高めるための方策を検討されているか伺います。</p> <p>④ 指定管理料が支払われない施設については、市へ納付金を払うこととなっている施設があるが、納付金の使途を伺うとともに当該事業者の意見も参考とされているか伺います。</p> <p>⑤ 最後に、分野を超えた各施設の連携が取れる体制を作り、市と事業者が一体となって情報発信や誘客などを進めることも必要と考えますが、意見を伺います。</p>	

質問者	1 大村 朋寛
質問事項・質問内容	
(1) 職員採用時の国籍条項撤廃について	
① 実施された経緯、現在の運用体制、これまでの申し込みを含む採用実績を伺う	
(2) 消防団員の確保について	
<p>① 被雇用者が入団しやすく、団員として活動しやすい環境の整備について</p> <p>ア 団員確保への協力、活動環境の整備を条件とした雇用者への報酬制度を設けるべきと考えるが、見解を伺う</p> <p>② 団員募集体制の強化について</p> <p>ア 地縁や団員の勧誘による募集体制への依存を見直し、市主体かつ、団員や地域の負担を増やさない形で、より幅広く多くの方に直接的な働きかけが行われるよう改善すべきと考えるが、見解を伺う</p>	
(3) 地域コミュニティの維持に向けた取り組みについて	
<p>① 政策の方向性について</p> <p>ア 自治会加入者の減少数が加速している状況を踏まえ、自治会加入者の負担軽減に繋がる支援に絞り、脱退や解散の抑止を強化して、減少数を鈍化させることを優先すべきと考えるが、見解を伺う</p> <p>② 地域コミュニティの維持に向けた取り組みについて</p> <p>ア 自治会加入者の金銭的負担の低減に向けた財政措置の強化について、現在の検討・議論の状況を伺う</p> <p>イ 地域コミュニティと自治会未加入世帯を直接繋ぐ人的支援策について伺う</p>	

質問者	6 成 相 寛 之
質問事項・質問内容	
(1) いずれもG I G Aスクールプランと2学期制について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 第1期いずれもG I G Aスクールプランの成果、課題について ② 第2期いずれもG I G Aスクールプランの策定について ③ A I ドリル「ドリルパーク」の活用について ④ 2学期制のモデル校の現状及び検討状況について 	

質問者	16 今 岡 真 治
質問事項・質問内容	
(1) 自転車の交通反則通告制度（青切符制度）および交通安全対策について	
<p>① 自転車の交通反則通告制度（青切符制度）の概要について伺います。</p> <p>② 青切符制度の市民への周知徹底と不安解消に向けた現状把握について</p> <p>ア 市民の理解度や不安の声を直接吸い上げる取組みを行う考えはあるか、見解を伺います。</p> <p>イ 本市が主体となることができる「独自のわかりやすい啓発活動」のこれまでの実績と、今後の計画について伺います。</p> <p>③ 自転車の安全教育の実施状況について伺います。</p> <p>ア 学校教育現場における安全教育の現状と方針</p> <p>イ 高齢者を含めた幅広い年代を対象とした安全教育の実施状況</p> <p>④ 安全で快適な自転車走行空間の整備について伺います。</p> <p>ア 自転車走行空間の整備計画および整備状況について</p>	

質問者	12 福田 実
質問事項・質問内容	
(1) 資材・人件費高騰が公共工事契約へ与える影響について伺う	
<ul style="list-style-type: none"> ① 現状をどのようにとらえているか伺う。 ② 市への影響はどのようなことが考えられるか伺う。 ③ 事業者への影響はどのようなことが考えられるか伺う。 ④ 今後も安定的に公共工事を進めるため、契約制度や積算方法の改善をどのように進める考えか伺う。 ⑤ 今後の対策は具体にあるか伺う。 ⑥ 市民サービスへの影響はどのようなものが考えられるか市の所見を伺う。 	

質問者	20 大谷良治
質問事項・質問内容	
(1) 出雲河下港の利活用促進と「出雲河下港振興ビジョン」について	
<p>① 物流・産業機能の強化と「第4号岸壁」の進捗について</p> <p>ア 令和10年度完成予定の第4号岸壁および、背後道路である一般県道鰐淵寺線の改良事業の現在の進捗状況について伺います。</p> <p>② ポートセールスについて</p> <p>ア 連続バース化による船舶大型化への対応を見据え、新規荷主の開拓や既存利用企業の拡大に向けた取組み状況等を伺います。</p> <p>③ 脱炭素化（CNP）の検討について</p> <p>ア 「カーボンニュートラルレポート」に関する情報収集や、再生可能エネルギー関連事業者の誘致状況について伺います。</p> <p>④ 防災拠点機能の強化と艦艇広報等について</p> <p>ア 物資補給・誘致の進捗</p> <p> a 防災機能の具現化</p> <p> i 耐震強化岸壁の活用や、ビジョンに盛り込まれた「常設ヘリポート」の整備検討は現在どのような段階にあるか伺います。</p> <p>⑤ 人流・賑わい創出とクルーズ船誘致について</p> <p>ア 整備完了後のクルーズ船寄港に向けた誘致活動の現状</p> <p>イ 親水空間の活用</p> <p> a 地域住民や観光客が港に親しめる「親水施設」等の整備検討について、市民の賑わい創出の観点から現在の見解を伺います。</p>	

質問者	4 三 加 茂 圭 祐
質問事項・質問内容	
(1) 国の「地域未来戦略」を見据えた本市の地域経済政策と付加価値創出について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 本市の地域経済における付加価値額の実態について伺う。 ② 生産・分配・支出の循環を踏まえた本市の地域経済政策の考え方および付加価値創出の具体策について伺う。 ③ 産業集積の現状と重点分野について伺う。 ④ Tech Hub Izumo構想における異業種連携の状況について伺う。 ⑤ 特定非営利活動法人ミライビジネスいずものコーディネーション機能の実態について伺う。 ⑥ 国の「地域未来戦略」における地場産業成長プランに関する市の対応方針について伺う。 	

質問者	10 川上雅文
質問事項・質問内容	
(1) 市役所・学校現場のカスタマーハラスメント対策について	
<p>① 市職員に対するカスタマーハラスメント対策の現状と今後の組織的な取り組みについて伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 市職員に対するカスタマーハラスメントの発生状況及び実態把握について イ カスタマーハラスメント発生時の相談体制及び組織的対応の現状について ウ 被害を受けた職員への支援及びメンタルヘルス対策について エ 市民への周知・啓発及び窓口対応における予防策について オ 国のカスハラ対策指針を踏まえ、今後の組織的な取り組みについて <p>② 市内小・中学校教職員に対するカスタマーハラスメント対策の現状と今後の組織的な取り組みについて伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 保護者等によるカスタマーハラスメントの発生状況及び実態把握について イ 教職員が保護者対応に費やしている時間を把握しているのか ウ 教職員の精神的負担や休職との関連についての認識はどうか エ 学校と保護者の適切な関係構築に向けた啓発やルール整備について オ 教職員が子どもと向き合う時間を確保するため、今後どのような対策を講じるのか 	
(2) 老朽化した防火水槽の点検状況と維持管理について	
<p>① 市内に設置されている防火水槽について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 防火水槽の設置数及び築年数別の状況について イ 老朽化が懸念される防火水槽の実態把握及び点検状況について ウ 点検の結果、修繕や更新が必要と判断された防火水槽は何か所あるのか エ 防火水槽の維持管理及び今後の改修・更新に係る計画について オ 地震等の災害時における防火水槽の機能確保対策はどうか 	

質問者	7 樋野千晴
質問事項・質問内容	
(1) 「子ども・若者の第三の居場所」の充実と持続可能な運営支援について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 本市の「子ども・若者の第三の居場所」の現状と認知度の向上の取り組みについて ② 居場所運営団体と市との情報共有するネットワークの構築について ③ 居場所運営団体に対する財政支援について 	
(2) 本市におけるグローバル人材育成のための英語教育について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 本市における子どもたちの英語による対話力の現状と課題を伺う ② 英語による対話力の向上に向けた取り組みを伺う ③ 学校教育におけるオンライン英会話の導入について市の考えを伺う ④ シティプロモーション「子育て・教育でえられるまち出雲」を目指した英語力アップへの取り組みについて 	

質問者	15 今 岡 久 人
質問事項・質問内容	
(1) 一般照明用の蛍光ランプ(蛍光灯)の製造・輸出入の廃止に伴う取り組みについて伺う	
<ul style="list-style-type: none"> ① 市民向けへの広報活動はどのようになされているのか ② 市民からの問い合わせはあるのか ③ 2027年末で現行の蛍光ランプの製造・輸出入が出来なくなることや、取り換えに伴う必要経費のことなどについての相談窓口設置はお考えではないのか ④ LED照明への交換による効果はどのようなことがあるのか 	

質問者	25 保科孝充
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市小規模特認校制度を伺う	
<p>令和8年3月議会最終日の全員協議会で報告のあった小規模特認校制度に係る基本方針について伺う。</p> <p>① 基本方針の小規模特認校基準の中で、現時点では小学校5校、中学校2校が該当すると見込まれた。導入スケジュールについて伺う。</p> <p>ア 該当する小中学校の学級数・児童生徒数を見ると、早期に導入することが必要と考える。地元の理解が得られれば、早期に導入すべきと考えるが、導入時期についてどう考えているか伺う。</p> <p>イ 対象校や対象地域に対して、説明し、理解してもらうことが大事だと考える。スケジュールをどのように想定しているか伺う。</p> <p>② 基本方針の制度を利用する児童・生徒の基準について、伺う。</p> <p>ア 「教育上特別な配慮が必要な児童・生徒」とは具体的にどのような内容か伺う。</p> <p>イ 「保護者の学校の教育活動等への参画」とは、具体的な内容と、参画の内容を伺う。</p> <p>③ 小規模特認校制度の導入により、どのような効果を目指しているのか。</p> <p>④ 近年の複雑な生活環境の中で、児童生徒の環境も大きく変化している。小規模特認校制度以外において、校区選択の際に柔軟な取り組みを行っているものがあるか。その内容について伺う。</p>	

質問者	18 児 玉 俊 雄
質問事項・質問内容	
(1) 「アレルギーと戦えるまちづくり」について伺う。	
<ul style="list-style-type: none"> ① 施政方針において検討するとされた「二地域居住」推進の取組状況を伺う。 ② 本市が二地域居住の推進に取り組むにあたり「アレルギーと戦えるまち」をアピールしてはどうかと考えるが所見を伺う。 ③ 学校給食等における食物アレルギーの子どもたちへの対応状況を伺う。 ④ 選ばれる小規模特認校や認定こども園を目指して、食農教育や食物アレルギー対応を特色とする「アレルギーと戦える学校、園」に取り組む考えはないか伺う。 	
(2) 「送迎保育ステーション」の設置について伺う。	
<ul style="list-style-type: none"> ① 市内の保育所等の地域別の入所状況等を伺う。 ② 地域によるアンバランスがあるとするれば、今後、どのように対応されるのか伺う。 ③ 保育所等の入所未決定の理由や転園希望などで送迎の困難さに関わるものがどの程度あるのか伺う。 ④ 「送迎保育ステーション」に関する研究成果と設置についての今後の方向性を伺う。 	

質問者	13 石橋 広信
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の「子育てアプリすくすく出雲」に関して伺う	
<p>① 出雲市では平成30年より、ICTを活用した「子育てアプリすくすく出雲」を導入しており、子育て世代にとっては、このアプリによる情報の集約は非常に心強い支援と思いますが、導入から約8年が経過し、市民からは「紙の母子健康手帳との併用が手間に感じる」「予約機能等をもっと充実させてほしい」といった声も聞かれるようです。そこで以下の内容に関して伺います。</p> <p>ア 出雲市の「子育てアプリすくすく出雲」は予防接種のスケジュール管理や成長記録など、多くの保護者に利用され、一定の評価を得ています。初めに現在の利用登録率の推移と運用実績、そして利用者からの具体的な声について伺います。</p> <p>イ 一方、全国に目を向けると、子育てアプリを「情報ツール」から「行政窓口」へと進化させる動きが加速しています。「見るだけ」のアプリから「手続きできる」アプリへの進化です。例えば、予防接種の予診票のデジタル化、健診予約のオンライン化、各種手当の申請等です。またそのようなアプリ効果は市側の業務効率化にも貢献すると思いますが、それらの機能充実の必要性に関する所見を伺います。</p> <p>ウ 公明党は「子育て応援トータルプラン」を掲げ、行政による妊娠期から出産・育児までの一貫した伴走型支援を推進しています。孤独な育児を防ぐため、デジタル技術を最大限に活用し、行政の施策とアプリとの親和性の効果により「すくすく出雲」がより便利で、より心の支えとなるような「出雲版子育てDX」を加速させるべきと考えますが、所見を伺います。</p>	
(2) 人口17万人維持に繋がる若者への支援対策に関して伺う	
<p>① 日本学生支援機構（JASSO）の奨学金返済に関して</p> <p>ア 現在、市内で働く大学出身者の返済状況</p> <p>イ 返済者への出雲市の支援策の状況</p> <p>ウ 代理返還制度の推進に関して伺う</p> <p>② リスキリングとキャリア形成支援に関して</p> <p>ア リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業の現状</p> <p>イ 教育訓練休暇給付金に関して</p> <p>ウ 出雲市版リスキリング支援体制に関して</p> <p>③ デジタル学修歴証明書の導入に関して</p> <p>ア デジタル学修歴証明書（オープンバッジ）の活用に関して</p> <p>イ 県との連携</p>	

質問者	2 坂本 祐麻
質問事項・質問内容	
(1) 市内事業者の業務効率化に向けた市役所DX推進について伺う	
<p>① 市民向けDX推進の現状と効果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 施政方針に掲げる「窓口に行かなくてよい」「待たなくてもよい」「書かなくてもよい」の取り組みの現在の進捗・効果はどうか イ 市民向けDX推進によって、窓口業務の効率化・職員の負担軽減ほどの程度実現できているか <p>② 市民向けDXの成果を踏まえ、市内事業者への拡充について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 国の賃上げ・最低賃金上昇の流れの中で、出雲市内の中小企業が社員に還元できる体力を維持できるかについて、市の認識を伺う イ 市民向けと同様に、事業者の手続き負担を最小化するDX推進を全庁横断的に進める考えはあるか ウ 具体的な取り組みとして、建築確認申請電子化・道路関係手続きWeb化・道路台帳図面および上下水道図面のオンライン取得について、それぞれの方針と課題を伺う 	

質問者	21 湯 淺 啓 史
質問事項・質問内容	
(1) 「市の発展」とは何か	
<p>令和7年3月議会に提出された「出雲市財務書類（令和6年度）」「水道事業経営戦略」「下水道事業経営戦略」「出雲市公共施設等総合管理計画」などの資料や9月議会に提出された決算関連資料、また「令和7年国勢調査結果（県速報）」および近年の出生数などから、出雲市は、「市の発展」という定義とそれをはかる指標や発展モデルを見直す必要があると考える。</p> <p>① 市長は「市の発展」をどのように定義しているか。</p> <p>② 指標の世代交代について</p> <p>ア 人口と経済規模という量的指標は、今も出雲市の発展を測る有効なものさしとの認識か。</p> <p>イ 指標の世代交代を検討しなければならないとの認識はないか。</p> <p>③ 発展モデルの転換に向けた具体的な問い</p> <p>ア 施設整備数・道路延長といった「量の指標」に加え、測定可能で政策責任が問える「質の指標」を総合振興計画に明示すべき。 以下の点について、指標として取り上げる考えはないか。</p> <p>a 社会的孤立率（頼れる人がいない市民の割合）、子どもの貧困率</p> <p>b U I ターン者の定着率（3年後・5年後）、就業選択肢の多様性、公共交通によるアクセス可能範囲</p> <p>c 将来世代負担率（1人あたり将来債務）、経常収支比率</p> <p>イ 公共施設再編方針の明確化と、スクラップ&ビルドの構造的課題</p> <p>a 「公共施設等総合管理計画」の削減目標について、何をどこに集約し、何を地域に委ねるかという再編のビジョンを具体化する必要性についての認識は。</p> <p>b 現状、既存事業の見直しが不可欠、事業のスクラップ&ビルドが進まない構造的な要因はどこにあるか。</p>	

質問者	14 鐘 推 義 憲
質問事項・質問内容	
(1) 本市における「ゲーミフィケーション」に対する考え方および今後の導入方針について伺う	
<p>① 本市における「ゲーミフィケーション」に対する考え方について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 意義および目的 イ 必要とされている理由および活用効果 ウ 本市の各分野における「ゲーミフィケーション」の活用および期待効果 <ul style="list-style-type: none"> a 観光分野 b 教育分野 <p>② 本市における「ゲーミフィケーション」の今後の導入方針について伺う。</p>	

質問者	19 錦 織 稔
質問事項・質問内容	
(1) 犯罪被害者支援の強化について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 相談窓口の体制強化と関係機関との連携について伺う ② 経済的支援（見舞金・助成金制度）の必要性について伺う ③ 「犯罪被害者等支援条例」の制定についての見解について伺う 	
(2) 学校教育活動におけるバスの安全運行と危機管理体制の強化について	
<ul style="list-style-type: none"> ① バス委託業者に対する「国のガイドライン」の指導・監査体制について伺う ② 「高速道路」を利用する際の安全基準と運行ガイドラインについて伺う ③ バス車内における「児童生徒の安全確保（シートベルト着用）」の指導徹底について伺う ④ 事故発生時を想定した「危機管理マニュアル」と連絡体制の整備について伺う ⑤ 「部活動遠征・学校行事」のバス利用における支援について伺う 	

質問者	28 板倉 一郎
質問事項・質問内容	
(1) ナフサショックに伴う出雲市への影響および事業者・生活者支援について	
<p>現在、石油化学製品の基礎原料であるナフサの価格が急騰し、プラスチック、断熱材、塩ビ配管、塗料・接着剤といったあらゆる建築・工業資材が歴史的な値上げを記録している。また、市内事業者を訪問する中で、ナフサ由来の製品が納入できないとの深刻な話を伺うとともに、ゴミ袋など生活に直結する行政サービスに対し心配する声も伺った。</p> <p>本年3月の中東情勢緊迫化に端を発した「ナフサショック」による本市への影響と、その対策について伺う。</p> <p>① 出雲市行政への影響</p> <p>ア 公共事業への影響</p> <p> a 現発注工事における進捗および入札不調等の現状</p> <p> b 納期遅延等に伴う工期延長、ならびに工法や資材見直しに関する考え方</p> <p> c 資源・製品価格の急激な高騰に伴う「スライド条項」等の柔軟な対応方針</p> <p>イ 市民への影響</p> <p> a 行政サービス全般への影響状況と今後の見通し</p> <p> b ナフサ不足報道に伴う「市指定ゴミ袋」の流通状況と市民への情報発信</p> <p>② 市内経済への影響と対策について</p> <p>ア 市内民間事業者の動向、特に建築・運輸・製造業等（第二次・第三次産業）への影響について</p> <p>イ 経営に直面する事業者への相談窓口の体制整備、および資金繰り等の緊急支援</p> <p>③ 生活者への継続的支援について</p> <p>ア 5月27日より利用が開始された「いずも縁結びPAY」プレミアム付きデジタル商品券をはじめ、今年度実施されている各種支援策の評価と、今後の生活者支援に関する市の考え方について</p>	

質問者	11 吉井安見
質問事項・質問内容	
(1) 物価高騰から市民の暮らしと事業者の経営を守る支援を	
<ul style="list-style-type: none"> ① 長引く物価高騰に加え、米国によるイラン攻撃などにより原油や資材供給が不安定になっている。出雲市内でも暮らしや経営に大きな影響を及ぼしているが、現状の認識を伺う。 ② 暮らしと経営を支える施策の実施を求めるが所見を伺う。 ③ 公共工事や学校給食などについても、事業者の不利益や保護者への負担とならないよう対処すべきと考えるが所見を伺う。 ④ 物資の供給や価格の安定が求められている。政府に対し国際的緊張の緩和を図ることと、暮らしと経営をささえる抜本的な予算措置を求めることが必要と考えるが、所見を伺う。 	
(2) 国民健康保険料の引き下げを	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市民の健康保険への加入状況について伺う。 ② 出雲市の国民健康保険料と県内他市との保険料の比較を伺う。 ③ 国民健康保険と被用者保険の保険料の比較を伺う。 ④ 国民健康保険料を引き下げるために国や県に対して働きかけるとともに、市独自の施策を求めるが、所見を伺う。 	
(3) 多文化共生の実現について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市内で働く外国人労働者のサポート体制について伺う。 ② 多文化共生社会の実現には、一人ひとりの人権が尊重されることが大切と考えるが所見を伺う。 	

質問者	30 長 廻 利 行
質問事項・質問内容	
(1) 出雲大社周辺における景観保全について	
<p>① 現在、大社地域において、建築中も含めて計画されている5階建て以上の宿泊施設は、何件あり、その高さはどのくらいか。</p> <p>② 本市の景観条例等により、どのような区域に、どのような景観保全のための規制が設けられているのか。</p> <p>③ 出雲市景観計画において、出雲大社周辺地域は、どのような位置付けとなっており、何メートルの高さまでの建物を建築することが出来るのか。</p> <p>④ 出雲市景観まちづくり基本条例及び出雲市景観条例等の法令に基づき、高さ制限など、どのような規制を設けることが出来るのか。また、規制を設ける場合、どのような手続きで住民意見が反映されるのか。</p>	

質問者	8 長 島 和 孝
質問事項・質問内容	
(1) 自死対策について伺う	
<p>① 第2次出雲市自死対策総合計画の目標と現状を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 自死者数の数値目標 イ 計画発表後の自死者数の推移 <p>② 令和6年度から今年度にかけての自死対策事業の予算を伺う。</p> <p>③ ゲートキーパー研修について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 昨年度の開催回数 イ その参加者数 ウ 参加者の感想 エ 自死遺族を講師に招く、開催地・回数を増やすなど拡充していくべきと考えるが所見を伺う。 <p>④ 生活保護について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 本市における保護率 イ 全国平均と本市の差 <p>⑤ 自死の誘因への対策も含め、広報を拡充する考えはないか所見を伺う。</p> <p>⑥ 電話相談窓口を拡充する考えはないか所見を伺う。</p> <p>⑦ その他、市が現在予定している自死対策を伺う。</p>	

質問者	3 糸 賀 太 郎
質問事項・質問内容	
(1) みせん広場の整備について	
<ul style="list-style-type: none"> ① みせん広場の活用状況について伺う ② 今後の整備計画について伺う ③ 今後の活用方策と有料化の考え方について伺う 	
(2) 神門通り周辺における喫煙環境の整備について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 神門通り周辺の喫煙環境に対する認識について伺う ② 喫煙所設置需要の把握について伺う ③ 喫煙所設置の検討状況について伺う ④ 今後の整備方針について伺う 	

質問者	17 後藤由美
質問事項・質問内容	
(1) 防災・減災対策及び公共事業のあり方について	
<p>① 災害に備えた防災・減災対策について</p> <p>ア 市内の河川改修、落石等通行危険箇所、土砂災害要対策箇所等それぞれ、市の整備状況、整備率を伺う。</p> <p>イ 現在の防災対策や災害危険箇所の整備進捗状況の受け止め、また、今後見込まれる防災・減災対策の課題認識を伺う。</p> <p>② 公共事業のあり方について</p> <p>ア 大型公共事業である「境港出雲道路」整備の目的を伺う。</p> <p>イ 境港出雲道路整備について住民の理解と納得、合意があるのか伺う。</p> <p>ウ 最優先で取り組むべき公共事業は災害防止に向けた公共投資だと考えるが、市長の認識を伺う。</p>	
(2) 障がい児、障がい者の暮らしの支援について	
<p>① 放課後等デイサービスの充実について</p> <p>ア 市内の事業所数と利用者の推移、また課題を伺う。</p> <p>イ 指導の質向上のためにも、事業者間の実践交流や研修の機会が必要と考えるが、現状はいかがか。</p> <p>ウ 子どもにとって指導・支援の一貫性から考えても一つの事業所へ通うことが望ましいと考えるが、通えず複数カ所利用する人もいる。背景には職員不足や事業所不足があると思う。市独自の支援策が求められるが、所見を伺う。</p> <p>エ 昨年から長期休暇時の開所時間が遅くなっている実態があるか伺う。実態があれば改善を求めるが、所見を伺う。</p> <p>② 出雲市自立支援医療費助成事業の廃止について</p> <p>ア 市独自のサービスであった「自立支援医療費助成事業」を2027年4月から廃止するとしている。廃止する理由を伺う。</p> <p>イ 昨年度の育成・更生医療の利用人数と、この間の推移を伺う。</p> <p>ウ 廃止ではなく継続を求めるが、所見を伺う。</p>	

質問者	9 三 島 好 弘
質問事項・質問内容	
(1) 男女共同参画社会の推進と仕事と家庭の両立支援策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市における男女共同参画社会の推進に係る取組の推進を伺う。 ② 出雲市役所における女性の管理職の登用状況を伺う。 ③ 出雲市役所における男性の育児休業の取得状況を伺う。 	
(2) 介護支援専門員の人材確保と定着について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 介護支援専門員の人員について近年の推移を伺う。 ② 介護支援専門員の現状の年齢構成を伺う。 ③ 将来を見据えた介護支援専門員の人員体制に関する市の所見を伺う。 ④ 介護支援専門員の今後に向けた人材の確保と定着に向けた市の取組を伺う。 ⑤ 介護支援専門員の本来の職務内容を伺う。 	

質問者	5 吉岡 拓也
質問事項・質問内容	
(1) 義務教育課程の学習量の増加に伴う「教科書を読み解く力」の重要性と本市の対応について伺う	
<p>① 「ゆとり教育」期と現在における学習量の変化について伺う</p> <p>ア 「ゆとり教育」期の学習量縮減から現在に至る学習量増加の経緯を伺う</p> <p>イ 学習量が増加する一方で授業時間がほぼ変わらないことに対する認識を伺う</p> <p>② 「教科書の文章を正確に読み解く力」の重要性について認識を伺う</p> <p>ア 「教科書を読み解く読解力」と、いわゆる「本を読む読解力」との違いに対する認識を伺う</p> <p>イ 島根県内の外国人住民の約半数が居住する本市として、日本語指導が必要な児童生徒（令和5年度延べ165人）が抱える「教科書を読み解く読解力」の課題に対する認識を伺う</p> <p>③ 本市の課題解決に向けた対応の必要性について伺う</p> <p>ア RST（リーディングスキルテスト）等の認知科学に基づくアセスメントと、全国学力・学習状況調査との相関に関する認識を伺う</p> <p>イ 児童期の「教科書を読み解く読解力」の不足が、社会人になってからの行政文書や契約文書の読解困難につながり、不利益を被ることがないよう、子どもたちの「読み解く力」の実態把握の現状について伺う</p> <p>ウ 学習指導要領を踏まえつつ、本市独自の指導体制の構築や取り組みを行う必要性について伺う</p>	
(2) 指定管理者制度の財政的持続可能性と設置者責任の再検討について伺う	
<p>① 「出雲市指定管理者制度の運用に関する方針」の策定時の状況と令和の現実との整合性について伺う</p> <p>ア 制度導入から20年余を経た74施設の運用状況について伺う</p> <p>イ 令和5年6月改訂以降の経済・社会条件の変化に対する基本認識を伺う</p> <p>② 運用方針第7項（設置者責任）と第8項（リスク分担）の整合性について</p> <p>ア 人件費・物品費の変動リスクを全額指定管理者負担とする設計と、設置者責任としての本市の対応について伺う</p> <p>イ 光熱水費以外の変動費についても協議事項として拡充する考えがあるか伺う</p> <p>③ 賃金スライド制度の導入について伺う</p> <p>ア 島根県最低賃金が約5年間で約30%（792円→1,033円）上昇した現実への認識と指定期間原則5年の制度における契約期間中の賃金上昇分の取扱いについて伺う</p> <p>④ 修繕費負担区分の運用方針における明文化について</p> <p>ア 金額の基準や経年劣化の取扱いを運用方針に規定せず、設置者である市が負うべき「施設本体の価値を維持する責任」と、指定管理者が負うべき「日常の運営上の責任」との境界を運用方針に明文化する必要性について伺う</p> <p>⑤ 持続可能な施設運営のための運用方針の段階的見直しについて伺う</p> <p>ア 地域団体（NPO法人・自治協会等）が担う施設における高齢化など担い手の疲弊への認識について伺う</p> <p>イ 現状の課題を踏まえた運用方針全体の段階的見直しの方針について伺う</p>	